

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福井県
本事業の担当部局名 未来創造部県民協働課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1_1_1 結婚支援センターに関する取組							
個別事業名	オールふくい連携婚活応援事業(結婚支援センター運営)				新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和2年度			
総事業費(A)(円)	30,029,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	5,720,000	差引額(A-B)(円)	24,309,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	30,029,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	30,029,000	0	30,029,000		
	対象経費支出予定額	0	0	30,029,000	0	30,029,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では少子化対策を進めてきた結果、合計特殊出生率はH16から維持している。 一方、子育て家庭への調査によると、こども持つことへの負担感として、「経済的負担」、「精神的・肉体的負担」が大きな負担感となっていることがわかった。 結婚、子育ては個人の自由な選択であり、個々人に特定の価値観を押し付けることはしてはならないことを前提に、社会全体で子育てを応援し、子育ての負担感を軽減し、子育ての楽しみや喜びをより強く感じられるようにすることが求められている。</p> <p><本個別事業の位置付け> 県と市町で協議会を設立し、ふくい婚活サポートセンターの運営や、AIを活用したマッチングシステムの運用、利用促進キャンペーン等を実施することにより、オールふくい体制で出会いの機会を創出し、結婚を希望する若い世代を後押しするものである。</p>						

	番号	項目	内容
個別事業の内容	1	婚活サポートセンターの運営	<p>県と市町の負担により、県全体で県民の婚活をサポートする拠点として「ふくい婚活サポートセンター」を設置</p> <p><役割分担> 県：全県域での結婚支援の仕組み・体制づくり、婚活サポートセンター運営経費を負担。協議会および婚活サポートセンターの運営全般のサポート、市町と協働した広域セミナー・イベント開催 等 市町：広報誌等を活用した住民への結婚支援事業の周知、婚活サポートセンター運営経費の一部負担、出張登録会開催時の会場提供、県・他市町と協働した広域セミナー・イベント開催および市町イベントでのセンター事業広報 等</p> <p><センター活動内容> (1)職員体制の整備(センター全体の運営管理を行う職員1名とマッチングシステムの運用等を実施するスタッフ3名(週4日勤務)、会員と地域の縁結びさんを引き合わせるなど、伴走支援を行うコーディネーター1名、結婚支援コンシェルジュ1名の配置(個票⑤で記載)) (2)センター事務所の設置およびセンター事務の実施 事務室賃借、事務機器リース、備品リース、事務消耗品の購入、利用登録料の収納 など</p>
	2	マッチングシステムの運用	自分のスマートフォンでお相手を検索し、お見合いをセッティングできるマッチングシステムを運用
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・活動期間が長くてもお見合い成立につながらない会員が一定数存在するが、自ら改善に向けた行動を起こしていないケースがあることから、活動状況を把握し、交際成立やお見合い実施が少ない方へはプッシュ型でセミナー等を案内することにより成婚件数等の増加を図る。 ※会員に対する随時の相談アドバイスは継続して実施</p>			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数	件	200 (R11年度)	168 (R6年度)
		マッチングシステム登録会員数	人	1,500 (R8年度)	1,350 (R8.1時点)
		合計特殊出生率		全国上位	1.46 (2位) (R6年)
		男性の育児休業取得率	%	85 (R11年度)	44.9 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.46 (R6年)	
		婚姻件数	件	2,584 (R6年)	
		婚姻率		3.6 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	年度末の会員登録数(センター登録数)	人	1,500 (R8年度)	1,400 (R7年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	交際成立者数	人	1,000 (R8年度)	791 (R8.1時点)
⑤	成婚者数	人	35 (R8年度)	34 (R7年度見込)	
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福井県
本事業の担当部局名 未来創造部県民協働課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1_6 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
個別事業名	若者の恋愛活動応援事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和6年度			
総事業費(A)(円)	3,998,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,998,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,998,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	3,998,000	0	0	0	3,998,000		
	対象経費支出予定額	3,998,000	0	0	0	3,998,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では少子化対策を進めてきた結果、合計特殊出生率はH16から維持している。 一方、子育て家庭への調査によると、こども持つことへの負担感として、「経済的負担」、「精神的・肉体的負担」が大きな負担感となっていることがわかった。 結婚、子育ては個人の自由な選択であり、個々人に特定の価値観を押し付けることはしてはならないことを前提に、社会全体で子育てを応援し、子育ての負担感を軽減し、子育ての楽しみや喜びをより強く感じられるようにすることが求められている。</p> <p><本個別事業の位置付け> マネープランやファッションなど若者が必要とする情報を発信することに加え、結婚を希望する独身の子を持つ親をターゲットとした、子への適切な関わり方を専門家が啓発することにより、結婚を希望しているが恋人さがしを意識した活動をしていない若者を後押しするものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	親を対象にした子の婚活に関する適切な働きかけ方の啓発	親の価値観を子へ押し付けるものではないということに留意しつつ、親の関与の有無等に応じた注意喚起やアドバイスを行うとともに、マッチングアプリに対する抵抗感・不安感を軽減するための情報を掲載する県サイトの閲覧を促す広報の実施					
	2	若者の恋愛活動を後押しする啓発	結婚を希望するが恋人探しを意識した活動を行っていない若者に対する、専門家による具体例やデータに基づくアドバイスや、マッチングアプリに対する抵抗感・不安感を軽減するための情報等を掲載する県サイトの閲覧を促す広報の実施					
	3	婚活に関する親および子(若者)からの相談窓口	様々な家庭環境や親子関係があることを配慮し、個別ケースに対応するための相談窓口を設置 (1)結婚支援センターにおいて、メールによる相談を随時受付 (2)専門家が対応するとともに、FAQをホームページに掲載					
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・若者および独身の子を持つ親向けの両サイトにおいて専門家が監修したデータに基づく結婚や恋愛に関する情報を更新する。 ・若者向けサイトの恋愛タイプ診断を活用し若者の声を聞き取ることにより政策立案につなげる。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数		件	200 (R11年度)	168 (R6年度)
	マッチングシステム登録会員数		人	1,500 (R8年度)	1,350 (R8.1時点)
	合計特殊出生率			全国上位	1.46 (2位) (R6年)
	男性の育児休業取得率		%	85 (R11年度)	44.9 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.46 (R6年)	
	婚姻件数		件	2,584 (R6年)	
	婚姻率			3.6 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	SNS・WEB広告により専用ページの閲覧を働きかけた回数(表示回数)	回	100,000 (R8年度)	94,022 (R8.1時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	啓発ページへのアクセス数(若者向けおよび親向けサイトのアクティブユーザ数の合計)	回	50,000 (R8年度)	50,458 (R8.1時点)
	⑤	個別相談件数	件	20 (R8年度)	16 (R8.1時点)
	⑥				
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福井県
 本事業の担当部局名 未来創造部県民協働課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	オールふくい連携婚活応援事業					新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和2年度		
総事業費(A)(円)	5,846,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	680,000	差引額(A-B)(円)	5,166,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,546,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	5,846,000	0		5,846,000
	対象経費支出予定額	0	0	5,546,000	0		5,546,000
対象外経費支出予定額	0	0	300,000	0		300,000	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では少子化対策を進めてきた結果、合計特殊出生率はH16から維持している。 一方、子育て家庭への調査によると、こども持つことへの負担感として、「経済的負担」、「精神的・肉体的負担」が大きな負担感となっていることがわかった。 結婚、子育ては個人の自由な選択であり、個々人に特定の価値観を押し付けることはしてはならないことを前提に、社会全体で子育てを応援し、子育ての負担感を軽減し、子育ての楽しみや喜びをより強く感じられるようにすることが求められている。</p> <p><本個別事業の位置付け> 県と市町で構成する協議会で運用するAIを活用したマッチングシステムの利用者の拡大のための広報や、利用者のマッチングシステムを使った婚活のサポートを充実させることにより、結婚を希望する若い世代を後押しするものである。</p>						

番号	項目	内容
1	マッチングシステム登録者募集の広報等	<p>(1)ポータルサイトおよびInstagramの運営 マッチングシステムや婚活イベントの情報等を掲載するポータルサイトおよびInstagramの運営</p> <p>(2)「ふく恋」マッチングシステムの広報 広報目的:県内若者に情報を届け、登録者増を図る(全媒体共通)</p> <p>①ポスター(540部) 市町:90部、結婚相談所:30部、結婚応援企業:400部 センター・県関係課・出先機関:20部</p> <p>②リーフレット(1,600部) センター:390部、市町:510部、地域の縁結びさん(ボランティア):300部 イベント用:20部×20回=400部</p> <p>③パンフレット印刷(1,600部) 婚活を始める若者に、マッチングシステムの情報も掲載したパンフレットを配布 制作部数:地域の縁結びさん:1,500部、セミナー参加者:100部</p> <p>④SNS広告(YouTube、LINE等)、ディスプレイ広告(グーグル、ヤフー) 訴求対象:県内在住の20代(メイン) 広告回数:8カ月程度配信 想定表示回数 20 万/月(SNS) 10 万/月(ディスプレイ)</p> <p>⑤情報誌掲載 訴求対象:県内在住の20代女性(メイン) 選定理由:県内全域で発行され、読者の約6割が34歳以下の女性 掲載回数:2回</p> <p>⑥新聞広告 訴求対象:企業、親世代(メイン) 掲載回数:2回</p> <p>⑦ふくいフェニックス祭りうちわ広告※一部、福井市負担金(福井市申請)充当 訴求対象:県内在住の20代男女(メイン) 制作枚数:7,000枚程度</p> <p>⑧(広報用)成婚レポート原稿執筆謝礼 マッチングシステムで出会い、成婚されたカップルのリアルな体験談を広報 素材として活用(謝礼として、夫婦にデジタル地域通貨20,000円分を進呈)</p>
2	婚活イベント等の実施	<p>県内自治体と連携したイベント実施に加え、県内の結婚支援情報を提供することで、参加者により多くの出会いの機会を提供する。</p> <p>●福井市との連携イベント 「出愛♥恋々(であいこいこい)応援事業」を共同開催 <婚活スクール学び編></p> <p>①婚活グループレッスン講座 内容:婚活のプロから婚活の心構え等を学ぶグループワーク形式のレッスン講座を開催 対象者:誠実に結婚を希望する20・30代男性 開催数:年間2回 参加者:定員18人×2回(年間36人)</p> <p>②婚活意欲を高める自分磨き講座 内容:婚活意欲を高めるセミナーと自身の魅力を高める講座をセットで開催 対象者:20・30代女性(ターゲットは婚活初心者や未経験者) 開催数:年間2回 参加者:定員20人×2回(年間40人)</p> <p>③婚活スキルを高める個別レッスン講座 内容:講師と1対1で個別の悩み相談や参加者に合わせた具体的なアドバイス等を行う個別レッスンを開催 対象者:誠実に結婚を希望する20・30代男女 開催数:年間8回 参加者:定員6人×8回(年間48人)</p> <p>④未来デザイン交流会 内容:結婚、子育て等のライフプランを描く未来デザイン交流会を開催 対象者:20・30代男女(ターゲットは婚活初心者や未経験者) 開催数:年間1回 参加者:定員20人</p> <p><婚活スクール実践編></p> <p>①試しに体験できる婚活練習イベント 内容:婚活スキルを学ぶ男女別講座とお見合いの練習をセットで実施する婚活イベントを開催 対象者:20・30代男女(ターゲットは婚活初心者や未経験者) 開催数:年間1回 参加者:定員 男女各16人(年間32人)</p> <p>②1対1のお見合い婚活イベント 内容:当日使えるコミュニケーション講座と1対1のお見合いをセットで実施する婚活イベントを開催 対象者:誠実に結婚を希望する20・30代男女 開催数:年間2回 参加者:定員 男女各20人×2回(年間80人)</p> <p>③縁活お助け人(仲人ボランティア)による相談会 内容:お見合い相手や出会いの場の紹介等、縁活お助け人と1対1の個別相談会を開催 対象者:誠実に結婚を希望する20・30代男女 開催数:年間1回 参加者:定員15人</p>

個別事業の内容

3	登録者の活動サポートの充実	(1)マッチングシステム継続会員への個別アドバイスによる活動支援 コーディネーター(※)による婚活スキルに関する個別アドバイスの機会を提供(100名を想定) (2)新規登録者への個別アドバイス(新規登録者の受講必須) スムーズな活動につなげるため、コーディネーターによる個別アドバイスを実施(新規登録者350名を想定) (3)登録者への随時フォロー コーディネーターが随時進捗状況を確認し、アドバイスを実施(200名想定) ※コーディネーターについて 結婚支援のエキスパートをコーディネーターとしてセンターに配置し、ふく恋マッチングシステムの会員に婚活のアドバイスを行うとともに、よりきめ細かな伴走支援を必要とする会員を、地域においてボランティアで成婚に結びつけるノウハウをもつ「地域の縁結びさん」に引き合わせ、お見合い成立後の成婚までの伴走支援を充実させる役割を担う。 人件費は個票①(オールふくい連携婚活応援事業(結婚支援センター運営費))で計上
4	結婚支援関係者向け研修会の実施	・市町職員、結婚相談員(県委託)、地域の縁結びさん(県登録ボランティア)向けにスキルアップ研修会を開催する。(2回、定員50名/回) ・ふくい結婚応援企業担当者向けにスキルアップ研修会を開催する。(1回、定員20名)
5	ふくい結婚応援協議会の運営	県と市町が、地域における結婚支援の実情と課題の共有、県と市町の役割分担に関する検討、今後の取組の協議を行い、協力して出合いの機会を創出するための協議会を設置する。令和7年度から県産業労働担当部署も参画し、多面的な結婚支援事業の取組推進に係る方策を議論する。 ・会議開催予定 6月総会 前年度収支決算および事業報告審議、当年度事業計画および収支予算 9月臨時総会 補正予算案審議、当年度事業進捗確認、翌年度事業検討 3月総会 当年度事業進捗確認、翌年度事業計画および収支予算審議 ・出席者 県担当課長、各市町結婚支援担当課長級 ・会議開催費(会議室使用料、資料印刷)
6	(参考)自治体間連携事業における交付金活用自治体	・福井市 個別事業名「出愛♥恋々(であいこいこい)応援事業」

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
・登録割合が少ない女性をメインターゲットにした広報を実施する。
・「地域の縁結びさん」の年齢層が高く、会員から同年代女性の方なら相談したいという声があったことから、コーディネーターが「地域の縁結びさん」の掘り起こしを行う。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数		件	200 (R11年度)	168 (R6年度)
マッチングシステム登録会員数		人	1,500 (R8年度)	1,350 (R8.1時点)	
合計特殊出生率			全国上位	1.46 (2位) (R6年)	
男性の育児休業取得率		%	85 (R11年度)	44.9 (R6年度)	

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.46 (R6年)	
	婚姻件数		件	2,584 (R6年)	
	婚姻率			3.6 (R6年)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	セミナーを受講した登録者数	人	40 (R8年度)	31 (R8.1時点)
	②	結婚支援関係者向け研修会の参加者数	人	100 (R8年度)	67 (R7年度)
	③	協議会への参加自治体数	団体	17 (R8年度)	17 (R7年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R7年度)	97 (R8.1時点)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—	
④	セミナー受講者の満足度	%	90 (R8年度)	96.3 (R8.1時点)	
⑤	結婚支援関係者向け研修会の参加者の満足度	%	80 (R8年度)	95.8 (R7年度)	
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福井県
本事業の担当部局名 未来創造部県民協働課

事業メニュー	結婚支援コンシェルジュ事業							
区分	結婚支援コンシェルジュ事業							
関連事業メニュー	2.1 結婚支援コンシェルジュ事業							
個別事業名	ふくい結婚応援協議会結婚支援コンシェルジュ事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和5年度			
総事業費(A)(円)	4,570,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	4,570,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,570,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	4,570,000	0	4,570,000		
	対象経費支出予定額	0	0	4,570,000	0	4,570,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では少子化対策を進めてきた結果、合計特殊出生率はH16から維持している。 一方、子育て家庭への調査によると、こども持つことへの負担感として、「経済的負担」、「精神的・肉体的負担」が大きな負担感となっていることがわかった。 結婚、子育ては個人の自由な選択であり、個々人に特定の価値観を押し付けることはしてはならないことを前提に、社会全体で子育てを応援し、子育ての負担感を軽減し、子育ての楽しみや喜びをより強く感じられるようにすることが求められている。</p> <p><本個別事業の位置付け> ふくい結婚応援協議会に専門的な知見を持つ者をコンシェルジュとして配置することにより、市町の結婚支援事業を支援するとともに、企業間交流を促進し、社会全体で結婚を希望する県民を後押しするものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考え方 ⑤実施体制	①ふくい結婚応援協議会 ②委託 ③1名 ④活動内容を実施する場合の業務量を考慮して1名を配置する ⑤婚活イベントの企画や結婚相談支援の経験等がある者が属する団体にコンシェルジュ業務を委託し、県および県内全市町で構成するふくい結婚応援協議会に配置することで、県内市町や企業における結婚支援を技術面・情報面から支援する。					
	2	管内市町、企業、地域団体等への訪問および現状把握	(市町への働きかけ) 訪問やオンラインにより現状把握を行う 訪問時期: 通年 (企業への働きかけ) 個別訪問やオンライン、電話により、現状把握やアドバイス(独身社員への接し方等)を行うほか、企業同士の交流会の実施を促す。訪問・電話等による働きかけは、60社程度実施する。(併せて「ふくい結婚応援企業」への登録促進を実施)					
3	管内市町等が実施するイベント、セミナー、広報への助言・立会等による協力	・管内市町等が実施するイベント、セミナー、広報に係る企画立案等について助言・立会等を行う。 ・管内市町等の担当職員を対象としてイベント、セミナー、広報に係る企画立案等のノウハウに係る研修会等を行う。						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
 ・コンシェルジュと市町担当者の双方向コミュニケーションが生まれるよう、定例的な情報交換の場を設定する。
 ・事業効用を高めるため、従業員へ結婚の働きかけが難しいと悩む企業の担当者(総務担当等)向け日時指定の一般募集で開催していたセミナーを個別オンデマンド開催に変更する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数	件	200 (R11年度)	168 (R6年度)
	マッチングシステム登録会員数	人	1,500 (R8年度)	1,350 (R8.1時点)	
	合計特殊出生率		全国上位	1.46 (2位) (R6年)	
	男性の育児休業取得率	%	85 (R11年度)	44.9 (R6年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.46 (R6年)	
		婚姻件数	件	2,584 (R6年)	
		婚姻率		3.6 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	対面・オンラインによる個別訪問市町数/管内市町数	%	100 (R8年度)	100 (R7年度)
	②	企業・団体への働きかけ件数(訪問、メール、電話、オンライン等)	件	60 (R8年度)	60 (R7年度見込)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	90 (R7年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた市町の数	市町	1 (R8年度)	1 (R7年度見込)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **福井県**
 本事業の担当部局名 **未来創造部県民協働課**

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1_1_2 結婚支援ボランティア等に関する取組						
個別事業名	地域の縁結び活動応援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度
総事業費(A)(円)	19,441,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	19,441,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	13,255,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計	
	総事業費	19,126,000	0	315,000	0	19,441,000	
	対象経費支出予定額	12,940,000	0	315,000	0	13,255,000	
対象外経費支出予定額	6,186,000	0	0	0	6,186,000		
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では少子化対策を進めてきた結果、合計特殊出生率はH16から維持している。 一方、子育て家庭への調査によると、こども持つことへの負担感として、「経済的負担」、「精神的・肉体的負担」が大きな負担感となっていることがわかった。 結婚、子育ては個人の自由な選択であり、個々人に特定の価値観を押し付けることはしてはならないことを前提に、社会全体で子育てを応援し、子育ての負担感を軽減し、子育ての楽しみや喜びをより強く感じられるようにすることが求められている。</p> <p><本個別事業の位置付け> 地域においてボランティアで結婚支援を行う地域の縁結びさんの利用相談窓口の設置により、県民がいつでも気軽に地域の縁結びさんに相談できる体制を構築することで、結婚を希望しているが自力だけの婚活が難しい県民を後押しするものである。</p>						

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	地域の縁結びさん利用相談窓口の開設	独身者やその親がいつでも気軽に地域の縁結びさんの利用に関する相談ができる体制の構築のため、委託により窓口を設置する。窓口は専任スタッフ1.5人を配置し、土・日・祝日にも開所する。窓口では地域の縁結びさんを利用してみたいと考えている独身者やその親からの相談に対応するほか、縁結びさんからの相談にも応じ、独身者と縁結びさんの関係構築のためのサポートや縁結びさんの支援力向上のためのアドバイスを行う。
	2	地域の縁結び活動の支援	お見合い件数および成婚件数の増加のため、委託により相談会や情報交換会の開催数を増やし、縁結びさんの支援力向上のための研修を開催する。 ①相談会 地域の縁結びさんを利用してみたいと考えている独身者が縁結びさんに直接相談できる機会を提供し、相談者を増加させる。 開催数：定例相談会・12回、嶺南相談会・2回、窓口相談会・4回開催予定 参加者：定員12名×18回(年間216名) ②情報交換会 縁結びさんの活発な情報交換により、お見合い件数を増加させる。 開催数：定例情報交換会・8回、地区別情報交換会・8回(4地区×2回)、 全体情報交換会・2回、窓口情報交換会・4回開催予定 参加者：平均20名×22回(年間440名) ③研修会 セミナー等により縁結びさんの支援力を向上させる。 開催数：年2回開催予定 参加者：30名×2回(年間60名)
	3	地域の縁結びさんの広報	地域の縁結びさん制度の認知度の低さや地域の縁結びさんに関する情報へのアクセスの悪さを改善するため、広報の強化を行い、独身者やその親が地域の縁結びさんに関する情報を手軽に入手できる環境を整える。また、地域の縁結びさんを独身者へ広く周知することにより地域の縁結びさんの相談者を獲得し、お見合い件数および成婚件数を増加させる。 ・SNS広告等により地域の縁結びさん窓口の開設を独身者へ広く周知し、利用を促す。 ・地域の縁結びさん公式インスタグラムを開設し、地域の縁結びさん主催の婚活イベントや相談会の開催情報を独身者へプッシュ型で届ける。 ・ふくい結婚応援ポータルサイト(ふく恋)の「地域の縁結びさん」ページの改修により、地域の縁結びさんの活動や実績、相談方法をより分かりやすく独身者へ届ける。
＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数		件	200 (R11年度)	168 (R6年度)
	マッチングシステム登録会員数		人	1,500 (R8年度)	1,350 (R8.1時点)
	合計特殊出生率			全国上位	1.46 (2位) (R6年)
男性の育児休業取得率		%	85 (R11年度)	44.9 (R6年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.46 (R6年)	
	婚姻件数		件	2,584 (R6年)	
	婚姻率			3.6 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	地域の縁結びさん相談者数	人	1,200 (R8年度)	1,080 (R7年度)
	②	SNS・WEB広告により専用ページの閲覧を働きかけた回数(表示回数)	回	50,000 (R8年度)	—
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R8年度)	—
②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—	
③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—	
④	成婚件数	件	55 (R8年度)	53 (R6年度)	
⑤	地域の縁結びさん向け研修会・アドバイスに対する満足度	%	80 (R8年度)	—	
⑥					
⑦					
⑧					